

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 2 月 28 日 (2013.2.28)

【公開番号】特開 2012-170094 (P2012-170094A)

【公開日】平成 24 年 9 月 6 日 (2012.9.6)

【年通号数】公開・登録公報 2012-035

【出願番号】特願 2012-60286 (P2012-60286)

【国際特許分類】

H 0 4 B 1/04 (2006.01)

H 0 4 B 1/40 (2006.01)

H 0 4 M 1/73 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 1/04 E

H 0 4 B 1/40

H 0 4 M 1/73

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 10 日 (2013.1.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の操作によって送信電力の上限値を低下させる送信電力低下手段と、

当該無線送受信機が無線基地局から信号を受信できる範囲が、当該無線送受信機が前記無線基地局に信号を伝達できる範囲と一致するか又はその不一致部分が小さくなるように受信性能を低下させる受信性能低下手段とを備えることを特徴とする無線送受信機。

【請求項 2】

請求項 1 において、

前記受信性能は、受信感度であることを特徴とする無線送受信機。

【請求項 3】

請求項 1 において、

前記受信性能は、通信成立と判断する場合の基準値であることを特徴とする無線送受信機。

【請求項 4】

請求項 1 において、

前記受信性能は、受信データの誤り率の許容値であることを特徴とする無線送受信機。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項において、

前記送信電力低下手段及び前記受信性能低下手段は、前記所定の操作によって生成された制御信号によって、送信電力の上限値及び受信性能を低下させることを特徴とする無線送受信機。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項において、

前記送信電力低下手段及び前記受信性能低下手段は、外部から情報を伝達し遠隔操作することで生成された制御信号によって、送信電力の上限値及び受信性能を低下させることを特徴とする無線送受信機。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項において、

送信電力の上限値と受信性能を低下させた状態において、あらかじめ登録した、情報伝送における相手側へ発信するときは、低下した送信電力の上限値が通常へ戻ることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項において、

送信電力の上限値と受信性能を低下させた状態において、あらかじめ登録した、情報伝送における相手側から着信したときは、低下した送信電力の上限値が通常へ戻ることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 9】

請求項 1 乃至 8 のいずれか 1 項において、

送信電力の上限値と受信性能を低下させた状態において、イヤホンの接続を検出したときは、低下した送信電力の上限値が通常へ戻ることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 10】

請求項 1 乃至 9 のいずれか 1 項において、

送信電力の上限値と受信性能を低下させた状態において、マイクの接続を検出したときは、低下した送信電力の上限値が通常へ戻ることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 11】

請求項 1 乃至 10 のいずれか 1 項において、

前記送信電力低下手段及び前記受信性能低下手段は、あらかじめ登録した位置にあるときは、送信電力の上限値及び受信性能を低下させることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 12】

請求項 1 乃至 11 のいずれか 1 項において、

前記送信電力低下手段及び前記受信性能低下手段は、あらかじめ登録した時刻にあるときは、送信電力の上限値及び受信性能を低下させることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 13】

請求項 1 乃至 12 のいずれか 1 項において、

前記送信電力低下手段及び前記受信性能低下手段は、あらかじめ登録したエリアであるときは、送信電力の上限値及び受信性能を低下させることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 14】

所定の操作によって送信電力の上限値を低下させる手段と、

前記所定の操作によって低下した送信電力の低下量と同じ量だけ受信感度が低下するように、通信成立と判断する場合の基準値を低下させる手段とを備えることの特徴とする無線送受信機。

【請求項 15】

所定の操作によって送信電力の上限値を低下させる手段と、

前記所定の操作によって低下した送信電力の低下量と同じ量だけ受信感度が低下するように、受信データの誤り率の許容値を低下させる手段とを備えることの特徴とする無線送受信機。